

農事組合法人うりぼう

三重県いなべ市

<http://www.net-uribou.jp/>



店舗概要

創業年 2002年(平成14年)
売場面積 252.0㎡(76.4坪)
従業員 12.0人
営業時間 8:30~17:00
定休日 火曜日

商品構成

・野菜 19.2%
・花き 17.9%
・米 11.0%
・その他農産品 24.9%
・加工品 11.4%
・惣菜、和菓子、パン、デザート 15.6%

経営方針

消費者の健康志向や食の安心・安全への関心の高まりを背景に地域で生産された農産物を地域で消費するという『地産地消』を理念に活動しています。

美味しく安全・安心な農産物を新鮮なうちに味わってもらいたい。そんな農家のまごころ・思いが集まった農産物直売所を目指しています。

地域を巻き込み一体となって6次化による特産品を使った商品を開発

平成16(2004)年に三重県北部のいなべ市に開店した「ふれあいの駅うりぼう」は、地域の出荷農家が野菜、果物、豚肉、茶、米などのこだわりの商品を取り揃える。また生鮮製品のほか、総菜部、和菓子部、パン工房、アイス工房など加工品の製造販売も充実。また、体験工房でのそば打ち体験、料理教室などを開催している。

地産地消を理念にかかげ、地域の魅力の揃う農産物直売所として地域住民に親しまれているが、平成24(2012)年に国の6次産業化総合事業計画の認定を受け、地域特産物を用いた商品開発に取り組んでいる。

6次化事業では、いなべ市の特産物の黒米を使った酒、蒟蒻、餅。蕎麦を使ったいなべ蕎麦ほか大根生姜飴、玉葱ドレッシング、ミルククイーンの味醂や酒などを開発。近年は、濃厚な牛乳をたっぷり使い旬の野菜を使ったジェラートを販売している。

農産物直売所という農家を中心となりがちだが、「めっちゃイノベーション」として、うりぼうの若手生産者のほか地域企業や行政関係者からなる実行委員会を結成。食を通じて地域活性化に取り組んでいる。この取り組みは地域住民のコミュニケーションの場として機能し、地元高校生の考案したハンバーガーなど新たな商品につながっている。